令和８年度第１回伊賀市子ども健全育成施策検討委員会　会議録

■開催日時：２０２６（令和８）年７月２２日（水）午後２時３０分～３時２１分
■開催場所：ハイトピア伊賀５階　学習室２
■出席委員：１１名
岡野裕行委員、岡山惠美子委員、田中康裕委員、家城円委員、竹島みち子委員、
松永愛委員、田中智彦委員、澤健史委員、瀧本志津代委員、松田昌子委員、
松尾明彦委員
■欠席委員：４名
柴田正美委員、中嶋恭子委員、南畑陽子委員、松村幸世委員
■市出席者：澤田教育長、福岡教育委員会事務局長、中教育委員会事務局次長、
小林社会教育推進監兼上野図書館長、藤原生涯学習課長、
髙見生涯学習課主幹、西口主任
■傍 聴 者：なし

開　会　（１４：３０）
【会議の公開についての説明】
この会議は、伊賀市子ども健全育成施策検討委員会条例に基づき開催し、伊賀市審議会等の会議の公開に関する要綱により、会議を公開し、会議の傍聴を認めている。本日の会議を傍聴される方、報道関係者の撮影等について、ご理解ご了解をお願いする。合わせて、会議録作成のための録音と会議録の公開についてご了承をお願いする。
【教育長あいさつ】
【委員委嘱状確認】
【資料の確認】
○第１回伊賀市子ども健全育成施策検討委員会事項書
○伊賀市子ども健全育成施策検討委員会委員名簿
○第三次伊賀市子ども読書活動推進計画　令和８年度進行管理シート〔資料１〕
○今後の予定について〔資料２〕
○計画の指標について〔資料３〕
○伊賀市　読書に関するアンケート〔資料４〕
○伊賀市子ども健全育成施策検討委員会条例

事務局
これより議事に移る。伊賀市子ども健全育成施策検討委員会条例第６条に「委員会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。」とあるため、ここからの進行は岡野会長にお願いする。

【協議事項】
（１）第三次伊賀市子ども読書活動推進計画に係る進行管理について〔資料１〕

議長
それでは事項書に従い、順次進める。
まず、協議事項１「第三次伊賀市子ども読書活動推進計画に係る進行管理について」、事務局から説明をお願いする。

事務局
「第三次伊賀市子ども読書活動推進計画　令和８年度進行管理シート」をもとに説明

議長
進行管理シートについて、委員の皆さんから何かご質問等あるか。

議長
資料３の計画の指標と進行管理シートとの関連性について説明願いたい。

事務局
計画の指標については、皆様方にお世話になった計画書の 18 ページ・19 ページに記載がある。進行管理シートについては関係部署の方で指標を定め進行管理をしていただくにあたって、これらの内容が計画の指標①②③にほとんどつながってきていると考えている。進行管理シートの事業に取り組んでいくことで、読書に対する好感度につながり、不読率の低減にもつながり、家庭における読書習慣の形成にもつながっていくということで各部署において進行管理をしていくことになっている。
次の説明とも関わってくるが、①②③については本年度から最終年度の 12 年度まで、小中高でアンケート調査を実施させていただきたいと考えている。アンケート調査により現状を把握し、その結果を関係部署と共有することで次年度以降に活かしていきたい。

議長
他に何かご質問等あるか。

事務局
補足として、皆さんに見ていただいているシートは年度当初のシートということでご理解いただきたい。年度末にはこのシートの形式を少し変えて８年度の事業実績を記載できる枠を設ける。さらに令和８年度の実績を記入していただくわけだが、９年度以降の実績も横並びに記載できる形式に変えたいと思っている。今は年度当初のシートということでご理解いただきたい。年度末のシートについては関係部署に送り、実績等を記載いただき、それをもって庁内関係課の会議、そして来年度、当委員会において皆様方からご意見等賜れたらと考えている。年度末のシートは形式が変わることをご理解いただきたい。

委員
見ていてちょっと違和感があったのは、例えば進行管理シート３ページの「館内において、ユニバーサルデザイン対応に努めます」とあるが、「閲覧席・学習席を提供しました」とあるが、これをずっと目標にするというのは違和感がある。ユニバーサルデザインの一部ではあるが、何かを達成するためのものとしてここに書いて継続させるということに違和感がある。わざわざこれを書く必要があるのか。進行管理という中に座席数というのはもっと精査

してもいいのではないかと思った。

事務局
このあたりはもう一回図書館とも相談させていただく。

委員
本年度はこのままでもいいが、来年度からなくすでもいいと思うが、継続して管理するものなのかなと思ったので。

議長
目標が 411 で今が 405 で、６増やすということを目標にする？

委員
これがユニバーサルデザインへの対応の目標になるのかということ。

委員
北館というのは図書館さんじゃなくて DMG が管理しているのか。その辺の関係が・・・。

事務局
400 というのは中央図書館のこと。
席数は若干前後したりするが、椅子は破損したりすると減ったりすることもあるが、なるべくたくさんのいろんな使い方もできるように設計しているので、その意味でユニバーサルデザインのところに設定している。

事務局
今いただいたことは検討課題とさせていただいていいか。

委員
ならば、こういう目的でこういう席を増やした。こういう目的でこういう形が本がとりやすいので席を増やしたといった説明がいるかなと思う。

議長
座席もいろいろ種類がある。大きめの共有スペースや一人で使うタイプのものなのか・・、もう少し説明がいる。全部ひっくるめてこの数字というのは・・・。

委員
ユニバーサルデザインとして、どういう目的でどういうことを確保しようとしているのかが見えてくるといい。

議長
一旦検討ということで、よろしく。
その他、何かあるか。

議長
進行管理シート３ページ、さっき見ていただいたところの４つ下に、にんにんブッカーの巡回数が令和７年度の実施内容が 117 回というところで、８年度は倍ぐらいの 219 回になっていて最終年度も 219 回となっていて、もう一気に倍のところにもっていこうということだが、対応は大丈夫か。
また、５ページの南部図書館のイベント回数１回のところ、８年度の目標値が 23 回で最終年度も 23 回となっており、最終年度ぐらいのところへ今年一気にもっていこうということだが、大丈夫かなといった心配がある。

事務局
私の方から説明する。にんにんブッカーの回数や分館のイベント回数について、そもそも分館を集約したので分館そのものの数が減っていて、閉館した分館のところにフルで移動図書館サービスを展開している。それ以上増えることはない。

委員
９ページの目標値のところで、「実施する放課後児童クラブ数」と書いてあるが、母数を書いていただけるといい。この数字だけだと分かりにくくて、全体がどれだけあってそのうちのいくつがやっていると書いていただく方が、何分の何といった書き方の方が分かりやすい。

事務局
確かにこれだけだともともといくつあるのかが分からないので、母数を記載していくように改めたいと思う。

議長
その他、何かないか。

委員
司書教諭が配置されているということだが、「12 学級未満の学校へも司書教諭の配置を目指す」と書かれているが、司書教諭の人数が増えるということか。今配置されている方が各学校に回るとかか。

事務局
12 学級以上の学校には司書教諭を置くことが約束事になっている。12 学級未満の学校でも教育委員会と相談の上配置していくことになるので、その辺りは学校教育課にも確認したい。司書教諭を配置することで学校図書館がより充実し、学校の中での読書活動の推進につながるので、ご意見をいただいたことを学校教育課にも伝えていく。

委員
司書教諭が増えたらうれしい。

議長
私の方からも、５ページの「図書館だよりの発行等による情報提供」というところで、中央と北部、南部とあって、南部は６回を 12 回に増やすということで月刊に変わっているとい

うことは分かるが、中央図書館の１年分ぐらいはバックナンバーとして見ることができるが、もっと過去の分は降ろしているのか。

事務局
バックナンバーの掲載は１年分だけで、未来の、これからのことを載せていくといった方針。

議長
以前のものは残っているということだが、web では見れないということか。そういう方針だったらそれでいい。

議長
その他、いかがか。ないようなので、それでは、協議事項の２番「今後の予定について」説明をお願いする。

事務局
「今後の予定について」をもとに説明

議長
今の説明に対して、何かご意見ご質問はあるか。
ないようなので、原案どおりでということでお願いします。
では、続いて協議事項の３番「読書に関するアンケートについて」事務局から説明をお願いする。

事務局
資料３「計画の指標」及び資料４「伊賀市読書に関するアンケート」をもとに説明

議長
それでは、委員の皆さんからご意見ご質問をお願いする。

委員
さっきの図鑑と事典は小学校２年生にはないということだったか。

事務局
小学校については５年生で代表して集計できればいいかということで、あえて２年生の設問には入れなかった。

委員
２年生ぐらいだったら虫の図鑑とが見ると思うが、いかがか。よく知っている子だったらトンボを見ただけで種類とか分かるから、図鑑などは好きかなと思う。

事務局
確かに、今おっしゃっていただいた通りかなとも思うが、５年生で代表してということで。

委員
反対に５年生以上になると図鑑を卒業しているとも思う。

委員
中学生では④を選択するしかない。子どもたちはあまり図鑑や事典を読んでるイメージはない。家に図鑑や事典がない家はたくさんあるので、答えにくいかという感じがする。

委員
小学校の現場からすると、２年生の方が図鑑をよく見ていて、５年生になったらタブレットとかそっちの方にいってしまうので、小学校で尋ねるなら逆に２年生で尋ねた方が数字がちゃんと出てくる。

議長
授業中の調べ学習とかで、図鑑や事典の使い方は５年生や中学生はどういった様子か。

委員
今調べるとなったらタブレットが多い。その方が早い。タブレットが導入される前は図書室にこもって調べてたけど、今は写真撮ったら、これ何ですかって訊いたら出てくる。

委員
小学校２年生ぐらいだったらセミを捕まえたりチョウを捕まえたりトンボを捕まえたりして、それで興味持って図鑑を見てスケッチしたりして、２年生や３年生ぐらいの方がよく図鑑を利用している。

議長
設問の１や３、４は電子も含むと書いてあるが、２は書いていない。紙を想定しているのか。

事務局
電子も含めてと考えているが、電子のことが抜けている。
いろいろご意見をいただいて有難い。
小学校２年生の設問にも「図鑑や事典は読むか」を入れ、電子書籍も含むことに修正してよいか。頭の中では図鑑や事典も電子書籍を含むことを想定していたが、文字として書けていなかった。

議長
ここはイメージの統一化が必要。授業を通しての利用で読んでいるとか、プライベートでも見ている、読んでいるといったことのイメージが児童生徒にどうかということで、アンケート結果がぶれそうな気がする。先生方の方でも授業だったら使っているなというイメージを持つだろうけど、どうかなという懸念がある。

委員
子どもたちがタブレットで調べたウィキペディアとか他のサイトもあるが、子どもたちはそれを図鑑ととらえてないかとか、そこが難しい。電子書籍の図鑑を見てそれを読んでいると

いう感覚で、Web サイトには詳しく書いてあるのでそれを図鑑を読んでるといった認識になることもあり、個人でアンケートするので難しいのではないか。

委員
子どもたちが電子書籍をしっかり認識しているかどうか不安を感じる。

委員
２番の項目が授業を含むと読み取れない。一番上に「あなたは好きですか」から始まるので、プライベートかなととってしまう。学校でこのアンケートをしたときに必ずといっていいほど子どもたちから「授業でもいいですか」といった質問があり、担任の先生によって答え方にばらつきがあるので、そこは明記しておくべきかなと思う。

事務局
今日は資料として用意はできていないが、令和６年度のアンケートの時もそうであったが、担任の先生に依頼文書と「こういうことにご注意いただきたい」といった注意書きのペーパーをお渡しした。小中においては学活や読書に関係のある時間等を使っていただき一斉にアンケートをしていただくことを依頼したい。担任の先生用の注意書きに記載させていただくことでよいか。

委員
徹底するなら設問の中に「授業中も含む」と記載する方が漏れがないと思う。注意書きの方で必ずみんながちゃんと読んでちゃんとすることを補償できればいいが、いろいろ実状もあるので、問題文にあったら漏れが少ないと思う。

事務局
いくつかご意見をいただいた内容を再検討させていただきたい。

議長
その他、何かないか。

委員
小学校２年生の子どもに電子書籍って分かるか。

事務局
これについても担任の先生用の注意書きに「このように説明ください」と記載したい。

議長
その他、何かないか。

委員
やっぱり漫画はダメか。歴史漫画で 70 何巻もあるのもあるが。

事務局

学習漫画は令和６年度同様に含む形に考えている。これもまた担任の先生用の注意書きに記載する予定である。
ただ、広い意味で漫画から読書に入ることも今の子どもにとっては必要かとも思うが、そこは全国学力・学習状況調査の設問に合わさせていただく。

議長
その他いかがか。
ないようなので、事項書の４番「その他」事務局からお願いしたい。

事務局
資料は用意していないが、今年４月に新しい図書館がオープンしたので、中央図書館長より少しご説明申し上げたい。

中央図書館長
４月に図書館がオープンし、予想以上の入館者がある。４月１か月間で 41,000 人を超える方々に入館いただいている。複合施設になっているので、ホテルとかカフェ、観光案内の所に来られた方も含めた数字になっているが、旧の上野図書館だと１か月の入館者数の平均が 6,300 人ぐらいだった。それからすると６倍以上になっている。入館ゲートが図書館の正面玄関とカフェやお土産のゲートもあるが、図書館の正面玄関からの入館者は 20,000 人以上になっているので、それから考えてもたくさんの方に図書館にお越しいただいている。
それから、中高生の人たちが今まで以上に来館いただいている。席数が 400 席あるが、今年の中間テストの時期に満席になるぐらいたくさんの方に来ていただいた。これがずっと続いていけばいいと思っている。
平日の昼間は学校がある時間帯なので児童生徒に来ていただくことはそんなにないが、一般の方がわりと来てくださり館内が賑わっていることが見受けられる。場所が移転したこと、機能が拡大して広くなったこと、居場所機能も充実させているので、予約制の学習室も含め閲覧席はいろんな形態で、ソファーのような椅子もあったり学習できるような机と椅子があったりとかいろんな形でご利用いただいている。一人席はもちろん、丸いテーブルにはいくつか椅子を置いてあり、自分に合った多様な使い方をしていただいている。
学校との連携については、小中学校の職場体験や見学なども随時受け入れるなど、たくさん関心を持っていただいている。また、学校の先生方の職場体験も以前より増えていて、先生方にも関心を持っていただいていることを有難く思っている。
高校との連携については、伊賀白鳳高校工芸部の皆さんが、児童コーナーの外にテラスがありそこに置くベンチを作製してくださった。駐車場にある車止めも作製してくださり、ご寄贈いただいた。上野高校との連携は、昨年度から校内でビブリオバトル大会を実施されているが、そこでチャンプになった本を図書館で展示したりコーナーを設けたり、図書委員を始め興味のある人にバックヤードの見学をしてもらったりしている。
そういうことで、多方面からの連携が進んできたこと、多くの人たちの関心があることで、これからもっと盛り上げていきたい。

事務局
その他として、委員の皆様の任期についてお知らせさせていただく。令和６年度からお世話になっているが、今年の９月 30 日までに任期になっている。途中からの方におかれても一

旦９月 30 日までとなるが、皆さん 10 月１日から２年間の任期ということでお世話になることになる。所属からの推薦書そして承諾の署名もいただいている方がほとんど。公募委員の方におかれては、８月１日の広報いが及びホームページで改めて募集することになるのでお知りおきいただきたい。
最後に、委員報酬と交通費を振り込ませていただくが、公務でお越しいただいている方は出張でご対応をお願いする。

議長
その他、委員の皆さんからもいかがか。
ないようでしたら、これで終了とさせていただく。さまざまなご意見等をいただき、ありがとう。そして、スムーズな進行にご協力いただきましたこと、感謝申し上げる。

事務局
岡野会長様、スムーズな議事の進行、ありがとう。
委員の皆様には、長時間、熱心にご協議賜りましてありがとう。本日ご協議いただきましたことを、子どもの読書活動推進に役立ててまいりたいと考えている。今後とも社会教育行政に対し、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げ、閉会とする。
なお、お車でお越しの皆様は、駐車券の無料処理をさせていただくので、事務局までお願いしたい。
本日はお忙しいなかご出席いただきありがとう。